

2019年5月7日 JGAP 認証を取得しました

認 証 証



JGAP審査の様子

GAPって？

GAP

(Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理)
とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のこと。

多くの農業者や産地がこれを取り入れることにより、結果として持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化、そして消費者の信頼の確保が期待されます。

◎GAPの種類

- 世界基準の GLOBAL G.A.P.
- アジア基準の ASIAGAP
- 日本基準の JGAP
- 都が認証する 東京都GAP
- 他各県が認証する 県GAPがある



受粉後約1カ月の水耕メロン



【認証取得について】

園芸科学科では昨年度より水耕栽培メロンでのGAP認証の取得に取り組んできました。

GAPは

- ①食の安全
- ②作業者の安全
- ③環境への配慮
- ④効率的な農場管理

どれ一つ欠けてもいけません。

わたしたちは、認証取得をしたメロンの栽培工程管理だけでなく、農場全体の整理整頓、実習の安全性、環境への配慮について全面的に見直し、取り組んでいます。

こうした取り組みの中で、GAPは服のメーカーではないかと思っていた生徒も、いまでは「先生、この箇所は危ないですから、GAPの精神に反しますよ」と気づき、教えてくれるようになりました。

生徒は園芸科学科での取り組みと学習のなかで、実践的にGAPの求める食の安全、作業者の安全、環境への配慮を学び、確実に身に付けてきています。

GAP認証取得を通して得た知識と実践例は、今後長く継続していくことにこそ意義があります。これからも、園芸科学科では、メロンに限らず農場全体における食の安全と、作業者の安全、環境への配慮を十分に鑑みた農場運営を行い、授業に取り入れていきます。

お礼

JGAP認証を取得するに先立ち、平成31年2月には東京都GAP認証を受けました。東京都GAP認証取得からJGAP認証取得にかけて、公益財団法人東京都農林水産振興財団、農業振興事務所西多摩農業改良普及センターをはじめ、関係各位からきめ細かいご指導と、多大なご協力をいただきました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。